

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



4.5 特集 日本語指導者養成講座

- 2 トピックス 年頭所感
- 3 視点 辛抱の後には必ず春が来る
- 3 ひろば この頃思うこと
- 6 実践記録シリーズ ボランティア養成
- 7 サークル交流 三条フェスティバル合唱団 (三条市) / 水原アマチュア無線クラブ (阿賀野市)
- 7 素顔拝見 吉岡正志さん (糸魚川市) / 今井尚美さん (高柳町)



「新春の巻機山」塩沢町

年頭所感

会長 佐藤 信幸



が重要であり、また、「私の館の事業展開のコンセプトはこうだ」ということを公民館運営審議会委員の皆さんと話し合いをもちながら確立し、自己主張のある事業を展開していきたいものです。

口で言うのは簡単だとお叱りを受けるかもしれませんが、そのような考えを持って事業を推進していけば「公民館は必要だ。公民館を大事にしながら」という声が県民の皆さんからさらにきこえてくるのではと思います。いかがでしょうか。

今年「トリ」年です。「元氣を出してはばたこう！公民館」を合言葉に大いにがんばりましょう。

今年もよろしく願います。

さらに広く皆さん方関係者の活用を望みます。

また、公民館をめぐる諸課題を各市町村で、必要であれば広域単位で、一つ一つ検討を重ねながら解決策を見つけていかなければならない年となるでしょう。

なかでも、いよいよ市町村合併が現実化していきます。

それにともない、公民館職員の減員問題あるいは事業運営の民間委託化、さらには指定管理者制度の導入等について、市民満足度や地域の特性の発揮等市民サービス向上のため、公民館としてどうとらえていくのか真剣な議論が必要でしょう。

昨年からお話してきましたが、このような時こそ私たち職員の仕事に取り組む姿勢と研修によるスキルアップ

公民館職員、公民館運営審議会委員をはじめとする公民館関係者の皆さん、新年明けましておめでとございます。

それぞれの夢を描かれて新しい年を迎えられたことと存じます。

年頭にあたり、中越大震災の被災地の皆さんにあらためてお見舞い申し上げますとともに、心から一日も早い復旧と皆さんのご健康をお祈り申し上げます。

昨年は、小須戸町中央公民館と新潟市関屋地区公民館が、地域住民の学習活動に大きく貢献した実績が認められ、第七七回優良公民館表彰を文部科学大臣から授与されました。大変、おめでとございます。ますますのご発展を祈念いたします。

一方、中越大震災をはじめ

集中豪雨、異常なほどの台風の襲来、さらには熊が多数ま

ちに出没するなど、自然の驚異を感じさせられた一年でありました。これらの災害によ

り、第五五回県公民館大会が初めて紙上大会に変更を余儀なくされ、また中越地区公民館長・主事・公運審等研修会

も中止されるなど、私どもの研修や交流の機会が制限された年でもありました。

本年は、新潟市において長年の計画が実行、五月に「新潟市生涯学習センター」が開館することになりました。こ

こには、中央公民館と図書館が併設され、さらに「国際友好会館」と複合化された施設

となります。市民の生涯学習活動の支援や、国際交流活動

等の促進を図る拠点施設としての活躍が期待されています。

市民の生涯学習活動の支援や、国際交流活動等の促進を図る拠点施設としての活躍が期待されています。

市民の生涯学習活動等の促進を図る拠点施設としての活躍が期待されています。



BOOKS INFORMATION

『感動をキーワードに』

上村捨二郎 著
(元新潟県公民館連合会事務局長)

B6判 137ページ 800円(送料実費)

公民館月報(個人購読大歓迎) 定価1部150円 年共 1,800円

申込先 〒951-8053 新潟市川端町2-9 県林業会館内 県公民館連合会事務局 TEL・FAX025-224-6073

視点

辛抱の後には必ず春が来る

阿賀野市公民館長 見原 健司



未曾有の被害をもたらした新潟中越地震。避難勧告が出されているさなか、知人をおして震度7を記録した川口町田山地区に向き、家屋整理などのボランティアをさせてもらいました。

「家の中をグルッと歩き回された感じ」と地元の方が表現するとおり、家の中は足の踏み場もない悲惨な状況です。それでも被災した方々は「他に比べ私の家はまだ良い方だ」と、文句も言わず黙々と後片付けをしているのです。この地を離れるか、住む家をどうするか、働く場の確

保は、田畑の修復は、子どもの教育は、途方もない数々の不安を抱えながら、豪雪という厳しい自然でも、命が息づく春が来ることを知っているからこそ、じつと耐え「辛抱」することができののだと思うのです。単なる「我慢」は、心と体に何一つ良い結果をもたらしません。

春は必ず来ます。今は辛抱ですが、早い復興と幸せが必ず訪れることを信じ、がんばっていたきたいと心から願っています。

H O T N E W S 掲 示 板

第1回自主財源確立のための調査検討委員会開催
平成16年12月2日(木) 13時30分～15時30分
於・新潟市中央公民館203号室

1. 開会
あいさつ 佐藤会長
2. 協議等
 - (1) 委員紹介 (自己紹介)
名簿順により
 - (2) 副委員長と副委員長の選出
委員長に吉岡潤一、副委員長に安田一久を選出の上、安田副委員長があいさつ
 - (3) 設置目的 別紙設置要綱第1条 掲載省略
 - (4) 活動内容 別紙設置要綱第2条
 - (5) 平成16年度県公運基本方針、歳入歳出予算書の説明
別添 評議員会議事要録
 - (6) 平成17年度県公運市町村負担金について
別紙資料1
別紙資料1-2 掲載省略
いろんな角度から検討した結果、原案どおり(資料1)の賦課表で決定することになった
県町村職員退職手当組合解散に伴う脱退精算負担金について
別紙資料2
別紙資料2-2 掲載省略
9月8日の評議員会の決定どおり、10年無利息返還を追認した
 - (8) 今後の会議予定及び内容
・正・副委員長並びに県市長会、県町村会と日程調整の上、1月下旬開催する
・内容は、自主財源確立のための具体的な方策について協議
 - (9) その他
3. 閉会 安田副委員長



ひろば

この頃思ひごと

新潟市中地区公民館運営審議会委員 藤田 優子

初めて子どもが生まれ、育児中心の生活が始まりました。そんな時、新潟市の各公民館には保育室があり、子どもの発達段階にあわせた学習会(ゆりかご、幼児期、児童期、思春期など)がある時に、市の養成講座を受けた保育者の人たちに保育してもらえらることを知り、幼児期家庭教育学級から参加しました。初めての母子分離はとても不安でしたが、公民館職員、保育者の人から見守ってもらい嬉しかったことを思い出します。

今、私は仕事の合間に保育者としてあの時を思い出しながら、お母さん達が保育室を出る時子どもたちにも「勉強が終ったら帰って来るから、友達と遊んで待っていてよ」と言っていて我が子がいなくなったようにギュッと抱きしめています。

あの時泣いていた娘も小四になり、公民館の土曜日開催の体験学習に友達と楽しく参加しています。そしていろんな出会いを大切に思うこの頃です。



人とかかわりの中から、子育ての仲間の輪が広がり、学習の機会を持つたことは幸せでした。そして

養成講座

(年度別の詳細は以下のとおりです。)

平成10年度	27人受講	2～3月に4回実施
平成11年度	25人受講	2～3月に5回実施
平成12年度	22人受講	11～12月に5回実施
平成13年度	12人受講	11～12月に5回実施
平成14年度	11人受講	11～12月に4回実施
平成15年度	10人受講	9～10月に5回実施
平成16年度	8人受講	10月に5回実施

講座では、1日2時間×5日で、日本語ボランティア教師としての心構えに始まり、日本語の教授法や指導計画の立て方などを学習します。(詳細は下記のとおり)

1回目	外国人事情・この地域の実情 日本語教師の心構え・教え方の基本
2回目	○日本語の教授法 文法Ⅰ・数字・漢字
3回目	○日本語の教授法 文法Ⅱ・敬語
4回目	○日本語の教授法 尊敬語・謙譲語・指導案の作成
5回目	○日本語の教授法 文法のまとめ ○日本語教室の見学と懇談

4 おわりに

平成10年度に開催した養成講座の受講生を中心に、平成11年度にボランティア団体「糸魚川日本語ネットワーク」が組織され、中央



公民館主催の日本語教室を開設するに至りました。その後、平成13年度に夜間の教室を開設し、平成14年度からは年間の教室の回数を20回にするなど、活発な活動をされています。

更に、平成16年度からは中央公民館からの委託を受け、日本語教室全般を運営する団体として活動の幅を広げています。

ただ、近年この地域では、外国人就労者や外国人研修生が増加しており、「休日や夜間に教室を開設してほしい。」「年間を通して開設してほしい。」「開設日を増やしてほしい。」等の多様な要望が寄せられています。

しかし、ボランティア教師の就労・育児などの家庭事情や高齢化により、慢性的な指導者不足となっています。

このような状況を踏まえ、養成講座開催時の保育ルーム開設を行うなど、育児中の方々が受講しやすいよう配慮してまいりましたが、今後は、講座を夜間や休日に開催することや講座数を増やし、幅広く受講者を増やすなどの検討を行い、日本語ボランティア指導者養成講座を継続していきたいと考えています。

特集

日本語指導者

糸魚川市教育委員会 いきいき学習課

1 はじめに

近年、糸魚川・西頸城地域では国際化の進展やいわゆる「嫁不足」により、この地域で生活している外国人（外国人妻や外国人就労者）の方々が増加してきています。

このような状況にありながら、この地域には日常会話や日本の習慣、この地域の慣習について学習する場が少ないのが現状です。

そこで、この地域に居住する外国人が日常会話やこの地域の慣習を理解することにより、地域にとけ込み、充実した楽しい生活が送れるよう日本語教室を開設し、学習の場を提供する必要があります。その開設にあたっての最大の課題は指導者の確保であり、特に、地域の慣習を教えることや増加する外国人を地域に受け入れやすくするためにも、この地域の方々の中から養成する必要があります。

2 事業実施に至る経緯

平成10年度に糸魚川保健所（現在糸魚川地域振興局糸魚川健康福祉事務所）と糸魚川市福祉保健課の保健師が中心となり、「外国人主婦のつどい」を開催したところ、参加者から日本語を正しく理解していないことや生活習慣の違いが原因で、家庭内外での生活上のトラブルが多数発生し、その結果、肉体的・精神的に体調を崩すなどの問題が生じているこ

とが分かりました。

このことから、外国人が生活している家庭や地域の医療機関から日本語教室の開設を求める要望があり、市として検討を始めました。

日本語教室の開設にあたっては指導者の確保が最大の課題であり、この時点で上越国際交流協会主催による「日本語ボランティア教師養成講座」が上越市において開催されており、糸魚川・西頸城地域（能生町・青海町）から8人が受講しておりました。

しかしながら、当地域での外国人の増加を考えると、更なるボランティア教師の養成が必要であり、そのためにもこの地域での日本語指導者養成講座の開設が望まれていました。

このことから、上越国際交流協会にご指導とご協力を賜り、平成10年度から共催で糸魚川市においても養成講座を開設することとなり、以降糸魚川市において実施しています。

3 事業実施状況

養成講座は平成10年度から、講師に上越教育大学日本語講師で、現在、上越国際交流協会会長の川室京子さんを迎え、年1回実施してまいりました。

平成10年度から平成16年度までに、延べ115人がこの講座を受講し、その後日本語ボランティア教師として、この地域の日本語教室での指導にあたっておられます。

また、養成講座は平日午前中に実施しているため、受講者の多くは高齢者や女性の方々です。

実践記録 シリーズ 82

ボランティア養成 ～ふるさと案内人～

前中郷村公民館長 藤井清比古



村内巡検

1 ボランティア養成

生涯学習が住民に浸透するにつれ、単に学ぶだけでなく、学んで得た知識・技術等を地域社会の発展や地域の人々のために貢献したいとする意欲を持つ人たちが増えてます。

この意欲を更に方向付けるために、当公民館では13年度から「ボランティア養成講座」を開講してきました。

年度	実施講座名	受講後の活動
13年度	図書室ボランティア養成	- 学校での読み聞かせ - 読書相談 - 図書の整理作業
14年度	ニューススポーツ指導者養成	- ジュニアスポーツ教室指導 - ニューススポーツ教室指導
15年度	ふるさと案内人養成	- 学校支援ボランティア - ふるさとマップ作成 - 地域素材の調査
16年度	ジュニアリーダー養成	- 野外活動の指導補助



2 「ふるさと案内人」養成講座

最近、村内の小中学校では「自分のふるさとをもっとよく知りたい」ということから、「総合的学習の時間」に取り組む学年があり、学校からのボランティア要請があっても学習を支援する人材が少ないのが現状です。

このことから、「ふるさとの自然や歴史について学び、ふるさと学習の案内人として活動できる知識を身に付ける。」という趣旨のもとに、講座を開講しました。

回	日程	学習内容等
1	4月27日(日) 9:00~	講義：「先人の残したものⅠ」/講師：野村忠司学芸員 ①中郷村の縄文遺跡 ②土器・遺物から見る古代人の生活 ③村の文化財の現状と課題
2	5月11日(日) 9:00~	講義：「先人の残したものⅡ」/講師：金子潤次先生 ①北国街道のもたらしたものの ②二本木宿場の歴史 ③妙高信仰と石造物
3	5月18日(日) 9:00~	講義：「ふるさとの自然」/講師：鶴居明彦さん ①中郷村の動植物の現状 ②自然環境の保護に向けて
4	6月8日(日) 9:00~	講義：「中郷村の現状」/講師：建設課職員、企画振興課職員 ①交通網の発展と課題 ②産業の現状と課題
5	6月29日(日) 9:00~	現地学習 村内巡りマップづくり

3 実践をとおして

村内巡検では、講義の資料をもとに目で確かめ、マップに記入して行きました。また、豊かな自然があるがままにどのように保護し、どのように利用したらよいかの議論も出ました。

「今まで視野が狭かったんですね。小さい村の中ですが、村にはこんなにすばらしい場所があるとは知らなかった。」「先人の足跡と豊かな自然を大切に、

次世代に伝えたい。」「自分の住んでいるところに、誇りを持てるようになった。」という感想と同時に、調査・研究を継続して進めていきたいと希望がありました。

いま作成中の「生涯学習推進計画」(次期計画)の中に位置付け、「ふるさと再発見」の資料につなげたいと思います。

4 おわりに

出来上がった「ふるさとマップ」はまだ十分とは言えませんが、地域素材を教材化したり、活用も方法を工夫したりして利用価値の高いものにしようと参加者は張り切っています。

子どもとともに地域を巡ったり、一緒に学習することは、自分の生まれ育った地域への愛着の念を深めるためにも有意義な活動でもあり、ひいては今後の地域の進展に大きな役割を果たすものと期待しています。



植生についての学習

感動ある合唱を

三条フェスティバル合唱団

三条市では、毎年秋に市内で活動している音楽団体が出演する三条市音楽祭を催しています。14年前、県央地区の合唱仲間を声を掛けて混声合唱団を結成し、参加したのが私達の始まりです。「フェスティバル」の名は音楽祭参加がその由来です。月三回、三条市中央公民館を主な練習会場として使用しています。当初より「感動ある合唱を」を目標に掲げて練習していま



とかく表面的な技術面だけに目が向きやすいのですが、楽曲の深いところにある「心」を表現することを忘れないようにしています。まだまだ未熟なのですが、我々の演奏を聴いて「温い」と評価されるようになってきました。とても心強く、また嬉しい言葉です。

（三条フェスティバル合唱団 事務局 八百枝正樹 記）



アジア大会を通して国際交流

水原アマチュア無線クラブ

アマチュア無線の楽しみ方の一つに、無線を使ったオリエンテーリングのようなARRDFと言う競技があります。

受信機を持って野山を駆け回り、電波の発信源を突き止



める競技なのですが、水原アマチュア無線クラブでは、このARRDF競技の愛好者が多く、平成十六年八月に阿賀野市を主会場として開催された、第一回全国高等学校ARRDF競技会の手伝いをさせていただきました。

また、今年七月に第二回全国高等学校ARRDF競技会・九月にReg. 3ARRDF競技会(アジア大会)が新潟県で開催される予定で、この二つの大会へも積極的に協力していきたく考えています。

現状のアマチュア無線界は、携帯電話の普及に追われ衰退気味ですが、この野山を駆け回るARRDFという競技を通して全国や海外の無線仲間と交流を深めたり、新たな仲間を発掘に努めていきたいと思っています。

（水原アマチュア無線クラブ 会長 中村 満 記）

今井さんは本年度から社会教育指導員として採用になり、主に高齢者学級を担当しています。

持ち前の明るさで、おばさま方にかわいがられ戸惑うこともあるみたいですが、色々工夫しながら各種の事業を進めています。

見た目はおっとりしていますが、意外とせっかちで頭で考えていることがすぐに口に出てしまい、慌てて取り消す場面がしばしば。



高柳町教育委員会教育課 社会教育指導員 今井尚美さん

でも仕事はテキパキとこなすため、のんびりしている私の方があられる場面が多いです。

ユーモアもあり、とかく暗い事務室も今井さんが来てからすっかり明るくなりました。

今回写真を正面から撮りたかったのですが、横顔の方が自信があるとのこと横顔を掲載しました。

(高柳町教育委員会教育課 春日 一浩 記)

民間企業を退職後、大和川公民館の職員として採用され、2年目となる吉岡主事を紹介します。

公民館主事という仕事は、多様な能力が求められると思いますが、吉岡主事からは、様々な公民館事業はもとより、地域コミュニティの核としての役割にも的確に取り組んでもらっています。トランポックス、ペタンクなどニュースポーツの導入、公民館セミナーでは「あんこ



糸魚川市大和川公民館 主事 吉岡正志さん

う料理教室」などの新しい企画で、住民のみなさんから喜ばれました。また、公民館報や生涯学習だよりの文筆の確かさに加え、何よりも対人のさわやかさで好感をもたれ、信望を集めています。趣味の釣りはセミプロの腕前。昨年、タリイカという見たこともないような大イカ釣りに連れて行ってもらい、大いに楽しみました。

(糸魚川市大和川公民館長 窪野 孝雄 記)

素顔 拝見

Net work ネットワーク

県公連第2回自主財源確立のための調査検討委員会の開催(案内)

- 記
- 日時 平成17年1月24日(月) 13時30分から15時30分まで
 - 会場 新潟市中央公民館 203号室(NXT21の裏)
 - 内容
 - 会長あいさつ
 - 平成17年度県公連市町村負担金について(その後の動向)
 - 県町村職員退職手当組合解散に伴う脱退精算負担金について(その後の動向)
 - 自主財源確立のための具体的な手だてについて
 - 今後の会議予定
 - その他

恵贈資料紹介

やまなみ

昭和29年1月10日創立歌会「やまなみ」と命名
 同年2月歌誌「やまなみ」創刊、13名出詠。
 ・やまなみの歩き幼きひとり立ち
 ゆくべき責務はきびし

柴田 康三

初代会長が感懐を讀まれて半世紀、会では県内外の会員を含めて五十有余人を擁し、中央より講師を招き研鑽しその道を深め、創作、発表等弛まない活発な活動と成果は、当文化協会の誇りでもありません。と創立五十周年並びに六百号



創立五十周年並びに六百号記念誌

記念誌の巻頭に、牧村文化協会津山智隆会長が述べておられます。
 また、公民館に毎月夜なべをして打ち上げた原稿を持っておいでになる金井誠さんと編集作業のメ

平成17年2月の催物ご案内

☆プラネタリウム冬番組☆

12月4日(土)~2月27日(日)

「ホワットくんと探るピラミッドの謎 ~隠された星の秘密~」

(内容) 冬の晴れた日、図書館で一緒になった星哉(セイヤ)と小夜子(サヨコ)は、「ピラミッドの謎」という本の話題で持ちきり。というのも、ギザの三大ピラミッドが王様の墓として使われていたわけではないらしいと知り、ピラミッドが建てられた目的に興味をもったからでした。その帰り道、突然、空から科学館のマスコットキャラクター「ホワットくん」が現れ、4,500年前のエジプトのピラミッドに連れて行くと約束しました。そしてエジプトに向かった二人は、ピラミッドに隠された星の秘密を知ることになるのですが、さて、その秘密とは…。

もちろん、オリオン座、おおいぬ座、冬の三角形など冬の星座や美しい星空も紹介します。

※ 3月1日(火)から3月4日(金)まで、番組入替及び保守点検のためプラネタリウムの投影はお休みです。3月5日(土)から新番組を投影します。

土・日曜日、祝日は自然科学館で

物理実験「マイナス200℃の世界」を見よう!

日時: 毎週土・日曜日と祝日の午前10時30分~
 場所: 自然の科学 3階 サイエンスラボラトリー



液体窒素を使って-200℃の極低温の世界を作り、「バナナを凍らせてクギを打てるか?」「ボールを冷やすと…?」「超伝導ってなに?」などの実験・実演を行います。お楽しみに!!

☆☆☆ お問い合わせ先 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

電話 (025) 283-3331 FAX (025) 283-3336
 ホームページ <http://www.lalanel.gr.jp/nsm/index.html>

新潟県立自然科学館 元気ないていこー!新潟

event information



ンバーの方々、印刷機から出て来る作品の数々。インクの匂いも心地よく出来たての冊子をいつも拝読させていただいています。と牧村公民館大塚敬美館長がお祝いを載せておられます。

記念誌では
 ・雪深き峡に芽生えて五十年「やまなみ」の灯を点す短歌友
 高谷 渡辺 信
 と、詠んでおられるのが印象的でした。
 それでは会の今後ますますのご発展を祈念しております。

牧村公民館 やまなみ短歌会

あ けましておめでとござい
と ます。
が 昨年は、水害、地震等大変多
き 難な年でしたが、今年こそ良い年でありませう、祈念して
 おります。

市町村合併もいよいよゴール間近となり、郡市公連の再編、市町村負担金の賦課等生々しい問題が山積しております。皆様方の全面的なご支援、ご協力をお願い申し上げます。

(鈴木 記)

表紙解説 機を織る織姫がいたと伝えられる巻機山 塩沢町公民館長 阿部弘文